

# 福祉

## 介護支援策を 利用者の立場に立つて

津本裕子議員(公明) ①高齢者実態調査の結果は、

②介護予防教室の内容は、

③傾聴ボランティアを取り入れるべきと考えるが認識は、

④末期がん患者に対する介護保険の適用について、国レベルでは進むと報道されているが、特に適用年齢前や介護家族に対する救済策は、

市長 ①高齢者生活状況アンケートでは、健康・普通に生活しているという人が約5割で、病院等にかかっている人は約8割である。

②健康運動指導士、歯科衛生士等が講話や、筋力運動、栄養改善指導などを行っている。

③意義のある活動と認識しており、この活動に近いものとして高齢クラブの友愛実践活動等がある。

④現在のところ詳細が不明のため、制度改正の内容を踏まえて適正な運用を図りたい。

## 生活保護受給者に 対する支援

浅倉成樹議員(公明) ①就職難等により生活保護の受給世帯が年々増加している。自立支援策が急務となっているが、生活保護受給世帯の動向は、

②市の自立支援策は、

③都は今年度から見舞金を廃止し、その財源を自立支援事業に当てるとしているが現状は、

市長 ①生活保護受給世帯は、平成16年度が千五百46世帯、2千二百7人で、平成5年度を底

に2倍以上増加している。最近の特徴としては、経済状況を反映して失業者からの相談がふえている。

②被保護者に対しては、地区担当員が就労支援を行ってきた。今後は、国が平成17年度から公共職業安定所に配置する就労支援コーディネーターと連携を図りながら取り組んでいく。

③都は新たに被保護者自立促進事業補助金を創設した。就労支援に関する被服費等の支給や、地域生活移行支援として、住宅契約に関する火災保険料等の支給等を行うというもので、現在準備を進めている。

## 心神喪失者等医療観察法は 障害者の自立に逆行する

橋本久雄議員(緑ネ) ①市内の精神病院のベット数は、

②国立精神・神経センター武蔵病院内に建設中の、指定入院医療機関の開棟時期は、

③新病棟外部評価会議や地域連絡会議の準備状況は、

④いわゆる社会的入院と言われる患者を、退院後に地域で受け入れるための対策は、

市長 ①国立精神・神経センター武蔵病院は48床、松見病院は34床、多摩済生病院は26床と聞いている。

②平成17年7月ごろの開棟に向けて準備を進めていると聞いている。

## 国立精神・神経センター 武蔵病院小川東町四丁目



③新病棟外部評価会議は6月下旬から7月上旬に、地域連絡会議は6月中旬に準備会議を開催する予定と聞いている。

④精神障害者の退院促進の施策は基本的に都道府県が行うものであるが、障害者自立支援法の動向を見極めつつ的確な対応をしていきたい。

## 障害者自立支援法と 障害福祉計画

岩本博子議員(緑ネ) ①障害者自立支援法の問題点は、

②障害福祉計画などに、当事者や関係者の声を反映させる仕組みが必要と思うがどうか。

市長 ①制定プロセスが拙速過ぎており、利用者負担に定率負担を導入するに当たっての所得保障制度との関係など、検討を要する事項がある。

②障害福祉計画を新たに策定する場合には、関係者等の意見も十分聞く必要があると考える。

③障害者基本法の理念に基づき、現在の各種施策を着実に実施することが必要である。今後は社会情勢の変化やライフステージのそれぞれの段階で、ニーズに合った生活支援サービスや保健予防対策を充実していきたい。

④市も準備を始めているか。

市長 ①東京都国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例等が施行され、対策本部と協議会が制度化された。また、本年5月には、第1回の東京都国民保護協議会が開催された。

②本年度末ごろに国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例と国民保護協議会条例を制定し、来年度中をめどに国民保護計画を策定する予定だが、現段階では都が開催する学習会や意見交換会に参加して、情報収集を行っている状況である。

## 国民保護法と 行動計画づくり

西 克彦議員(共産) ①武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律、いわゆる国民保護法に基づき、国民の保護に関する基本指針が本年3月に閣議決定され、都道府県レベルでの計画づくりが進んでいると聞くが、都の動きは、

②市も準備を始めているか。

市長 ①東京都国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例等が施行され、対策本部と協議会が制度化された。また、本年5月には、第1回の東京都国民保護協議会が開催された。

②本年度末ごろに国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例と国民保護協議会条例を制定し、来年度中をめどに国民保護計画を策定する予定だが、現段階では都が開催する学習会や意見交換会に参加して、情報収集を行っている状況である。

ワーストワンは小平市と掲載されたが、どう考えるか。

②防犯についての考えは、

③小・中学校に防犯緊急携帯メールを導入する考えはないか。

④総務省の地域安心安全情報共有システムの今後の経過は、

市長 ①窃盗犯、知能犯等の認知件数の増加は、警察署の徹底した取り締まり等の結果である。粗暴犯等はすべてランキング外であり、治安が著しく悪化しているという認識はない。

②市民、警察、防犯関係団体等との連携を図るとともに、防犯意識等の啓発などを実施するのが市の役割と認識している。

教育長 ③大変有効なものと認識している。システムの動向を見守りたい。

市長 ④今年度も実証実験を行い改良を進めるとのことである。

## 玉川上水などグリーンロードに スーパードライブの設置を

桜田 誠議員(公明) ①不審者等が出没すると聞くが、市は状況を把握しているか。

②玉川上水緑道などにスーパードライブを設置できないか。また、設置条件は、

③グリーンロードにおける防犯対策をどう考えているか。

市長 ①不審者等は広範囲にわたり出没しているが、玉川上水緑道等の事例は把握していない。小平警察署もグリーンロード等の施設を限定する統計はとっていないとのことである。

②玉川上水等に設置する場合は、法律や都条例により環境保全を条件としたさまざまな規制があり、植生や景観上の問題も生じることから困難と考える。

設置する場合は、犯罪認知件数や地域住民の要望等を総合的に勘案して、設置地区を定めると警視庁から聞いている。

③夜のひとり歩き等には適さない面もあるので、防犯意識を持って利用するよう啓発したい。スーパードライブとは、事件、事故などが発生したときに緊急通報ボタンを押すとインターホンで警察署と通話ができる街頭緊急通報システムで、非常用赤色灯、警報、通報装置、防犯カメラを装備した街路灯型の防犯装置のこと。

④定期的な協議を行っているが、解決に至っていない。

⑤十二小通りでの安全性は改善されたのか

立花隆一議員(公明) ①安全対策にどう取り組んだのか。

②十二小通りに接して店舗等の建設が予定されている。工事車両による児童・生徒への影響が指摘されているが、安全対策はどうか。

③東小川橋の安全対策として要望した西側横断歩道の設置状況と信号機の設置は、

市長 ①路側帯の新設、老朽化した路面表示の再塗装、見通しの悪いカーブのカラー舗装などを実施した。

②車両の状況により、店舗管理者に必要な対策を要望したい。

③小平警察署に要望した結果横断歩道が設置されることとなったが、信号機の設置は困難と聞いている。

## 石置き道路に代表される 未解決事業の見直しを

原 邦彦議員(公明) ①新市長のもと、未解決事業の見直しをしてほしいがどうか。

②市長を含む幹部が解決に向け、積極的に現場との協議を進めてほしいがどうか。

③未解決事業の解決により、市民の安全やサービスが拡大するとの考えに立ち、最優先に取り組むべきと考えるがどうか。

④石置き道路のその後は、

市長 ①拡幅整備等において、境界の承諾が得られず、整備が進まない路線があるが、確定に向け努力していきたい。

②関係者の理解と協力が得られるよう、今後とも一層の努力をしていきたい。

③重要課題と認識しており、今後も適正な道路整備が進められるよう、地権者と話し合いを重ねていきたい。



カーブミラーで安全確認

ミラーは全額個人負担となっているが、一部を補助し、負担軽減を図る考えはないか。

市長 行きどまり道路は、交差点の状況を把握している居住者が利用していることから設置していないが、今後は交差点の交通量や交差する部分の形状等によっては、カーブミラーの効用が大きく期待できることもあるので、設置基準の見直しを予定している。費用負担についてもあわせて検討したい。

④定期的な協議を行っているが、解決に至っていない。

⑤十二小通りでの安全性は改善されたのか

立花隆一議員(公明) ①安全対策にどう取り組んだのか。

②十二小通りに接して店舗等の建設が予定されている。工事車両による児童・生徒への影響が指摘されているが、安全対策はどうか。

③東小川橋の安全対策として要望した西側横断歩道の設置状況と信号機の設置は、

市長 ①路側帯の新設、老朽化した路面表示の再塗装、見通しの悪いカーブのカラー舗装などを実施した。

②車両の状況により、店舗管理者に必要な対策を要望したい。

③小平警察署に要望した結果横断歩道が設置されることとなったが、信号機の設置は困難と聞いている。

## 再びカーブミラーの 設置基準の見直し

浅倉成樹議員(公明) 開発行為でつくられた行きどまり道路の場合、出口に設置するカーブ

ミラーは全額個人負担となっているが、一部を補助し、負担軽減を図る考えはないか。

市長 行きどまり道路は、交差点の状況を把握している居住者が利用していることから設置していないが、今後は交差点の交通量や交差する部分の形状等によっては、カーブミラーの効用が大きく期待できることもあるので、設置基準の見直しを予定している。費用負担についてもあわせて検討したい。

④定期的な協議を行っているが、解決に至っていない。

⑤十二小通りでの安全性は改善されたのか

立花隆一議員(公明) ①安全対策にどう取り組んだのか。

②十二小通りに接して店舗等の建設が予定されている。工事車両による児童・生徒への影響が指摘されているが、安全対策はどうか。

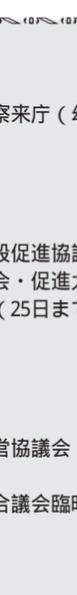
③東小川橋の安全対策として要望した西側横断歩道の設置状況と信号機の設置は、

市長 ①路側帯の新設、老朽化した路面表示の再塗装、見通しの悪いカーブのカラー舗装などを実施した。

②車両の状況により、店舗管理者に必要な対策を要望したい。

③小平警察署に要望した結果横断歩道が設置されることとなったが、信号機の設置は困難と聞いている。

## カラー舗装された十二小通り



カラー舗装された十二小通り

カラー舗装された十二小通り

カラー舗装された十二小通り

カラー舗装された十二小通り

カラー舗装された十二小通り

カラー舗装された十二小通り

カラー舗装された十二小通り

# 議会日誌

4月1日～7月27日  
(本会議、委員会、諸会議など)

## 4月

- 12日 議会報編集委員会
- 13日 小平市第三次長期総合計画基本構想特別委員会
- 19日 幹事長会議(臨時)
- 22日 議会運営委員会(臨時)
- 26日 4月臨時会
- 27日 昭和病院組合議会臨時会

## 5月

- 10日 幹事長会議(臨時)
- 11日 小平市第三次長期総合計画基本構想特別委員会
- 13日 幹事長会議(臨時)
- 16日 総務委員会
- 17日 生活文教委員会

## 6月

- 2日 議会運営委員会

- 7日 6月定例会初日
- 幹事長会議(臨時)
- 議会運営委員会(臨時)
- 8日 6月定例会2日目(一般質問)
- 9日 6月定例会3日目(一般質問)
- 議会運営委員会(臨時)
- 10日 6月定例会4日目(一般質問)
- 14日 総務委員会
- 15日 生活文教委員会
- 16日 厚生委員会管外視察(府中市)
- 17日 建設委員会・市内視察
- 20日 小平市第三次長期総合計画基本構想特別委員会
- 21日 都市基盤整備調査特別委員会
- 22日 産業活性化調査特別委員会
- 23日 幹事長会議
- 24日 議会運営委員会
- 28日 小平・村山・大和衛生組合議会臨時会
- 29日 6月定例会最終日
- 議会報編集委員会

## 7月

- 5日 多摩六都科学館組合議会臨時会
- 12日 愛知県尾張旭市議会議員視察来庁(コミュニティバス)
- 13日 小平市第三次長期総合計画基本構想特別委員会
- 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会
- 多摩地域都市モノルール等建設促進協議会
- 15日 東京都十一市競輪事業組合議会臨時会
- 東京都四市競輪事業組合議会臨時会
- 議会報編集委員会
- 19日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 21日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
- 22日 昭和病院組合議会臨時会
- 26日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 27日 湖南衛生組合議会臨時会
- 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会臨時会
- 多摩北部都市広域行政協議会審議会